【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成16年8月12日(2004.8.12)

【公開番号】特開2001-216830(P2001-216830A)
【公開日】平成13年8月10日(2001.8.10)
【出願番号】特願2000-23380(P2000-23380)
【国際特許分類第７版】
　Ｆ２１Ｖ　17/00
// Ｆ２１Ｙ 103:02
【ＦＩ】
　Ｆ２１Ｖ　17/00　　３３０Ｆ
　Ｆ２１Ｙ 103:02

【手続補正書】
【提出日】平成15年7月28日(2003.7.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
ランプを保持する器具本体と、前記器具本体に対向する開口部を有しランプを覆うようにして前記器具本体に取り付けられる透光性のカバーとを備え、前記カバーの前記開口部周縁に形成された複数の突出部が、前記カバーの回転により前記器具本体の前記突出部と対応する位置に、一体形成された係合部に係合して、前記カバーが前記器具本体に固定保持されるよう構成され前記器具本体又は前記カバーの少なくとも一方に、前記突出部と前記係合部の係合完了時にクリック感を付与するクリック感発生手段を設けたことを特徴とする照明器具。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
【課題を解決するための手段】
上記課題を解決するために、請求項１の発明は、ランプを保持する器具本体と、前記器具本体に対向する開口部を有しランプを覆うようにして前記器具本体に取り付けられる透光性のカバーとを備え、前記カバーの前記開口部周縁に形成された複数の突出部が、前記カバーの回転により前記器具本体の前記突出部と対応する位置に、一体形成された係合部に係合して、前記カバーが前記器具本体に固定保持されるよう構成され、前記器具本体又は前記カバーの少なくとも一方に、前記突出部と前記係合部の係合完了時にクリック感を付与するクリック感発生手段を設けたことを特徴としており、器具本体に新たな部材を追加して取り付けることなく、カバーを器具本体に取り付ける者が、クリック感よりカバーの突出部が器具本体の係合部に係合したことを知ることができ、コストを抑えることができる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００２３】
また、器具本体１の外向き鍔部１２ａの外側に位置する周端部近辺の下面には、カバー１５の突出部１５ｄを係合して取り付けるための一体形成された係合部１９Ａ～１９Ｃを突出部１５ｄと対応する位置に３カ所形成してある。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５６】
【発明の効果】
上記したように、請求項１の発明は、ランプを保持する器具本体と、前記器具本体に対向する開口部を有しランプを覆うようにして前記器具本体に取り付けられる透光性のカバーとを備え、前記カバーの前記開口部周縁に形成された複数の突出部が、前記カバーの回転により前記器具本体の前記突出部と対応する位置に、一体形成された係合部に係合して、前記カバーが前記器具本体に固定保持されるよう構成され、前記器具本体又は前記カバーの少なくとも一方に、前記突出部と前記係合部の係合完了時にクリック感を付与するクリック感発生手段を設けたため、器具本体に新たな部材を追加して取り付けることなく、カバーを器具本体に取り付ける者が、クリック感よりカバーの突出部が器具本体の係合部に係合したことを知ることができ、コストを抑えることができる。